

### 3-1 関東・信越・北陸地方とその周辺の地震活動 (1996年11月～1997年4月)

#### **Seismic activity in the Kanto, Shinetsu and Hokuriku Districts, and adjacent areas (November, 1996-April, 1997)**

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

関東・信越・北陸地方とその周辺の地震活動の内、別項の「東海・関東地域の地震活動」に記載されなかった地域（中部地方北部及び北方海域）の活動と、関東地方およびその周辺の地震活動で特筆すべきものについて示す。

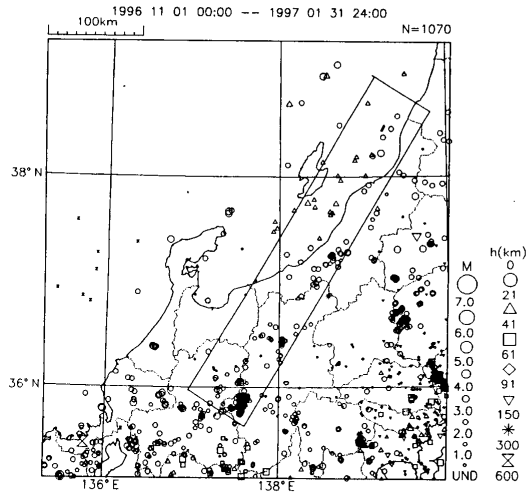
第1図は関東地方とその周辺の1996年10月～1997年4月の3か月毎の震央分布で、M2以上、震源の深さが600km以浅の地震の震央が示されている。M4以上の地震には発生日が示されている。12月21日に茨城県の南西でM5.4の地震が発生し、東北地方から近畿地方にまで広範囲にわたって有感地震となり、最大震度は5弱であった（本巻別項の東海南関東の地震活動を参照）。3月23日の茨城県南部の地震は最大で震度3であった。11月20日に房総半島南東沖でM6.0の地震が発生し、余震活動が続いている（本巻別項の東海南関東の地震活動を参照）。茨城県沖から福島県沖にかけて、地震活動が活発である。

第2図は新潟県から岐阜県にかけての領域と北陸地方などの3ヶ月毎のM2以上で震源の深さが600km以浅の地震の震央分布と矩形領域内の時空間分布が示されている。期間外ではあるが、5月になって富山湾でM2～3の地震が固まって発生した。

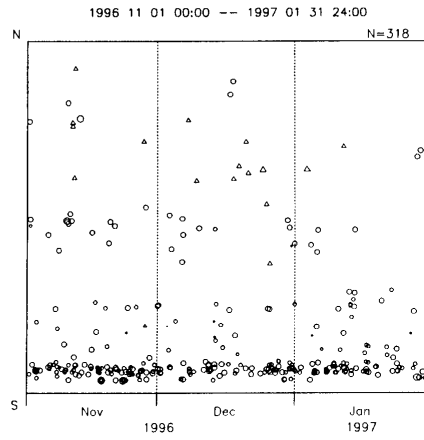


中部・北陸地方とその周辺の地震活動(1996年11月1日～1997年1月31日)

震央分布図

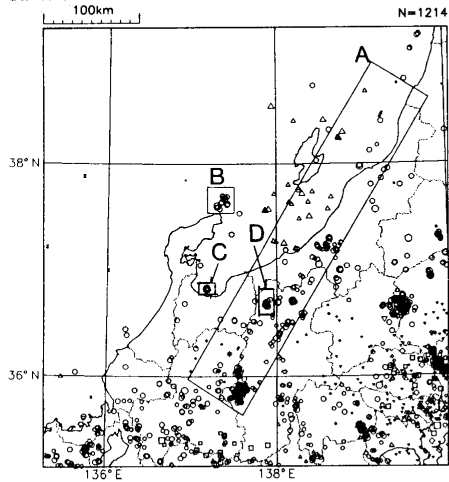


時空間分布図

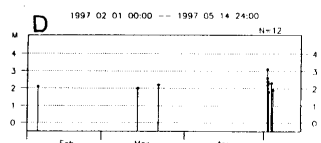
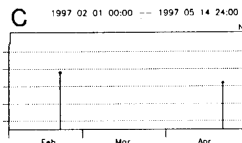
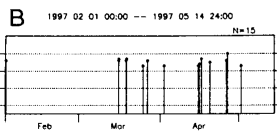
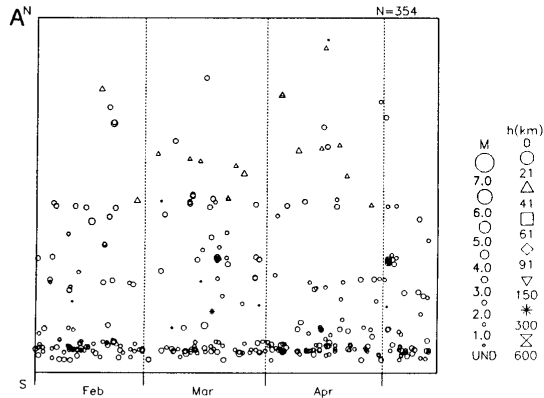


中部・北陸地方とその周辺の地震活動(1997年2月1日～1997年5月14日)

震央分布図



時空間分布図



【暫定】 (気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用) 気象庁作成

第2図 信越・北陸地方とその周辺で発生した地震の3カ月毎の震央分布と矩形領域の時空間分布図 (1996年11月～1997年4月)

Fig. 2 Quarterly epicenter distributions in the Shin-etsu and Hokuriku Districts and adjacent areas and time-space plots in rectangular regions (November, 1996-April, 1997), including M-T diagrams in region B, C and D (February-April, 1997).